

面的評価支援システムの バージョンアップ方法

Ver 5.2.2

令和6年3月

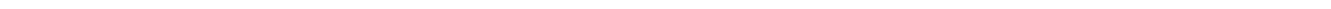


環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課



目 次

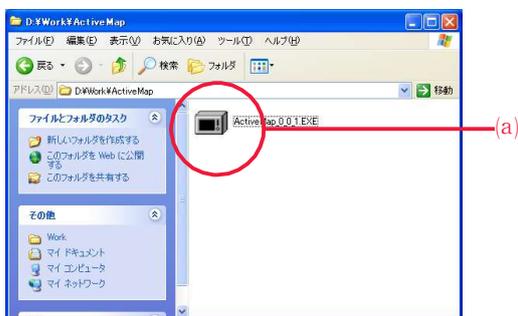
1	GIS エンジンのセットアップ	1
2	面的評価支援システムのバージョンアップ	5
3	面的評価支援システムのデータ設定	8
4	面的評価支援システム用データのバージョンアップ	9



1 GIS エンジンのセットアップ

地方公共団体用の GIS エンジンのセットアップ手順について説明します。地方公共団体以外の方は、ご用意された GIS エンジンのマニュアルに従って、セットアップを行ってください。

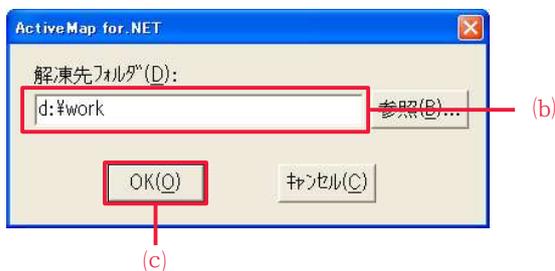
(1) GIS エンジンの解凍



- (a) [ActiveMap_X_XX.exe] をダブルクリックします。
⇒ [Active Map for.NET] 解凍画面が表示されます。

注意

ファイルの解凍でエラーが出る場合は、ユーザーにファイルの「実行、変更（読取、書込）」の権限がない可能性が有ります。パソコンの管理者に相談し、権限を与えてください。



- (b) [解凍先フォルダ] に解凍先フォルダ名を入力します。
- (c) [OK] をクリックします。
⇒ 下記のファイルが解凍されます。

- ・「DotNetFrameworkX.X^{※1}」
- ・「ClientPack」
- ・「AMSetup」

注意

※1 「X.X」はバージョンを示します。
・システム Ver.4 では 2.27 システム Ver.4.1 では 2.28 となります。

(2) .NetFramework のセットアップ

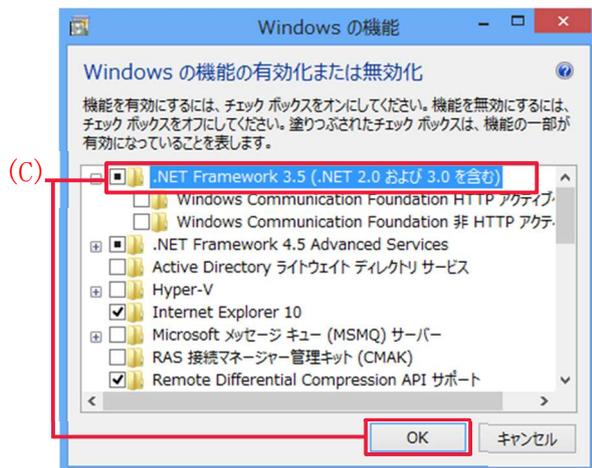
.Net Framework のセットアップ手順について説明します。
既にインストールされている場合は必要ありません。



- (a) コントロールパネルを開き、[プログラム] をクリックします。
⇒ [プログラム] が表示されます。

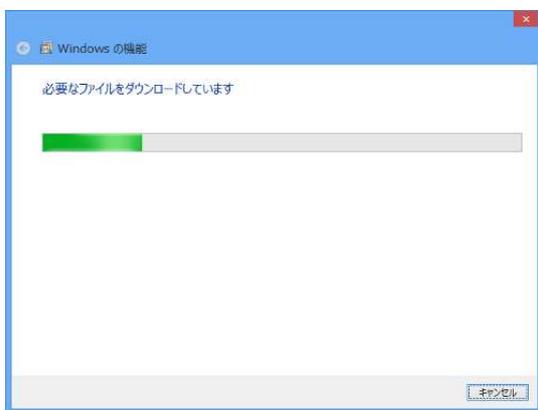


- (b) [プログラムと機能] をクリックします。
⇒ [プログラムと機能] が表示されます。



(c) [.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)]にチェックがない場合には、チェックを入れたOK をクリックします。

⇒「Windows の機能」の画面で、[Windows Update からファイルをダウンロードする※1] をクリックすると、自動的に必要なファイルのダウンロードが始まります。



(d) 必要な変更が完了したら、閉じる をクリックします。

注意

※1 インストールには、インターネットへの接続環境が必要です。

備考

すでに必要なファイルがインストールされている場合は、自動的に変更が適用されます。

また、すでにインストールされており、(C)にチェックがある場合はOK をクリックしてください。



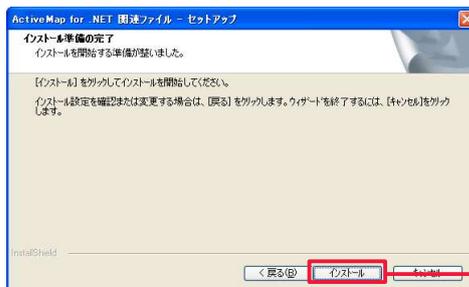
(3) ClientPack のセットアップ



- (a) 解凍したフォルダ内から、「ClientPack」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。
⇒ [ActiveMap for .NET 関連ファイル セットアップ] 画面が表示されます。



- (b) [次へ] をクリックします。
⇒ [インストール準備の完了] 画面が表示されます。

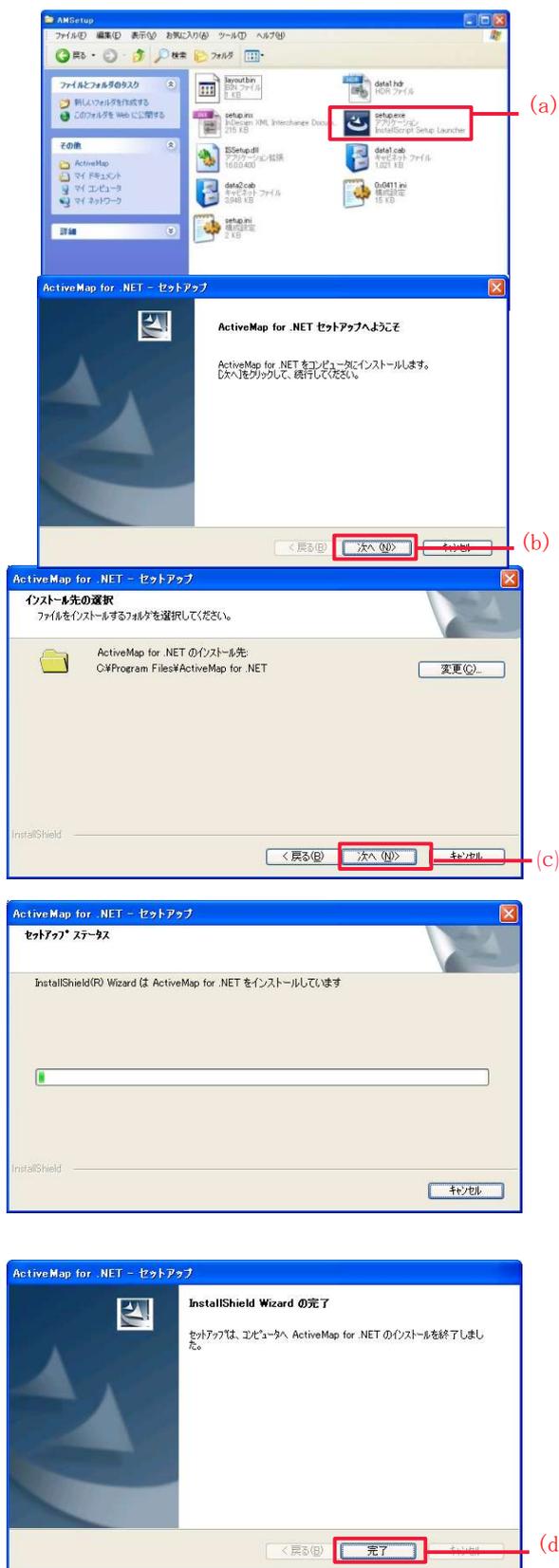


- (c) [インストール] をクリックします。
⇒ インストールが開始されます。



- (d) [完了] をクリックします。

(4) AMSetup のセットアップ



(a) 解凍したフォルダ内から、「AMSetup」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。
⇒ [Active Map for.NET] のセットアップウィザード画面が表示されます。

(b) **次へ** をクリックします。
⇒ [Active Map for.NET] のインストールフォルダの選択画面が表示されます。

(c) **次へ** をクリックします。
⇒ インストールが開始されます。

(d) **完了** をクリックします。
以上で、GIS エンジンのセットアップは完了です。

2 面的評価支援システムのバージョンアップ

面的評価支援システムのバージョンアップの方法を示します。

□ 操作フロー

下記のフローに従って、新しい面的評価支援システムへバージョンアップを行います。

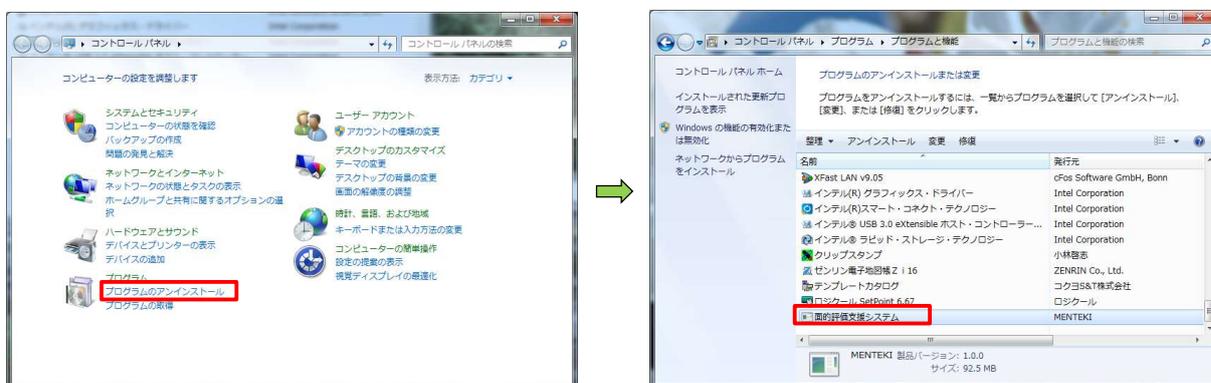
1. 古い面的評価支援システムのアンインストール



2. 新しい面的評価支援システムのインストール

(1) 古い面的評価支援システムのアンインストール

1. 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順にクリックし、「面的評価支援システム」を選択しアンインストールを行う。



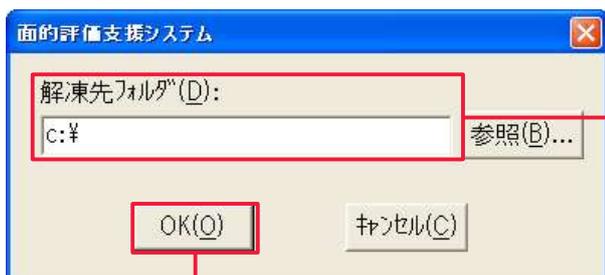
(2) 新しい面的評価支援システムのインストール



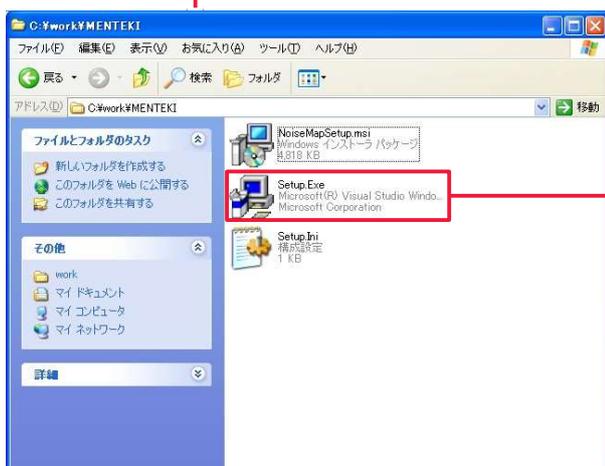
- (a) 「MENTEKI (自治体版) .EXE」または「MENTEKI (一般版) .EXE」をダブルクリックします。
➡ [面的評価支援システム] 解凍画面が表示されます。

注意

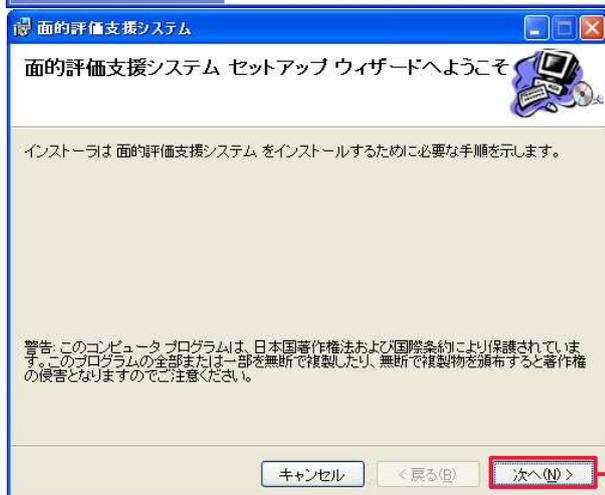
ファイルの解凍でエラーが出る場合は、ユーザーにファイルの「実行、変更（読取、書込）」の権限がない可能性が有ります。パソコンの管理者に相談し、権限を与えてください。



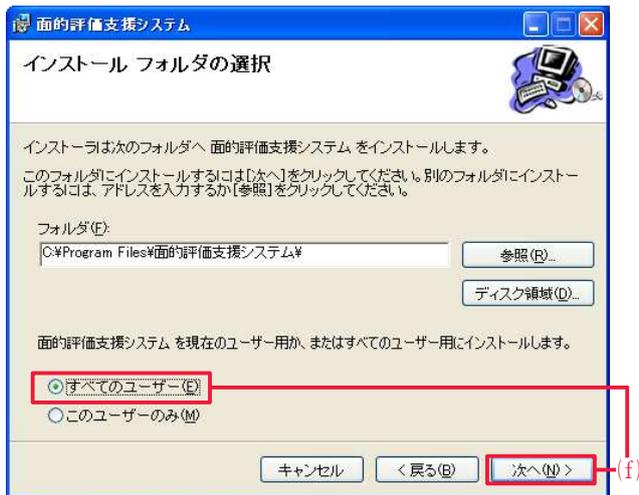
- (b) [解凍先フォルダ] に解凍先フォルダ名を入力します。
(c) [OK] をクリックします。
➡ ファイルが解凍されます。



- (d) 上記手順で解凍したフォルダ内から、「MENTEKI」フォルダを開き、「Setup.Exe」をダブルクリックします。
➡ [面的評価支援システム] ウィザード画面が表示されます。

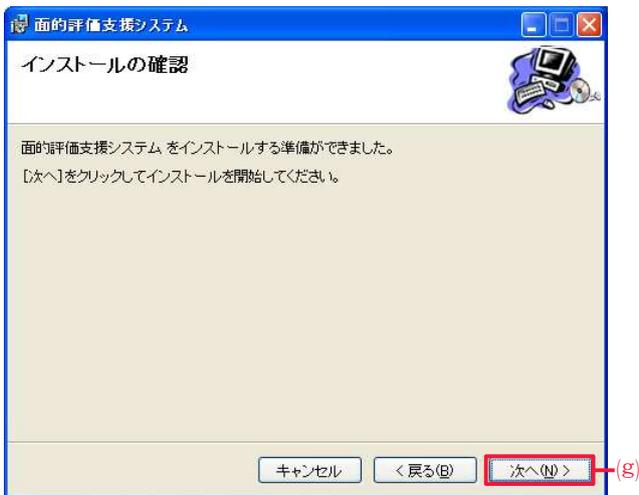


- (e) [次へ] をクリックします。

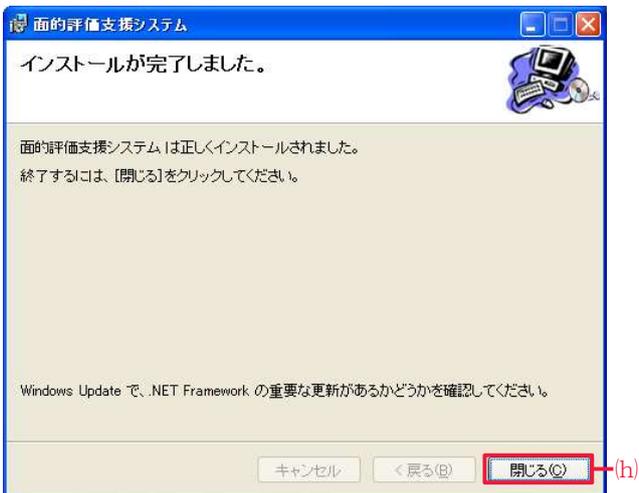


- (f) 「すべてのユーザー」をチェックし、**次へ**をクリックします。
 ⇒ [面的評価支援システム] のインストールの確認画面が表示されます。

次へ



- (g) **次へ** をクリックします。
 ⇒ [面的評価支援システム] のインストールの完了画面が表示されます。



- (h) **閉じる** をクリックします。
 以上で、面的評価支援システムのセットアップは完了です。

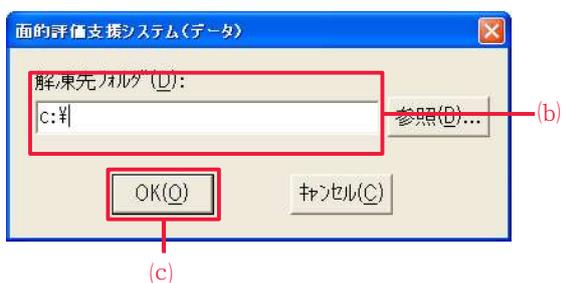
3 面的評価支援システムのデータ設定

面的評価支援システムのデータ設定について説明します。

(1) 新規にデータを作成する場合



(a) MENTEKI_DATA.exe をダブルクリックします。

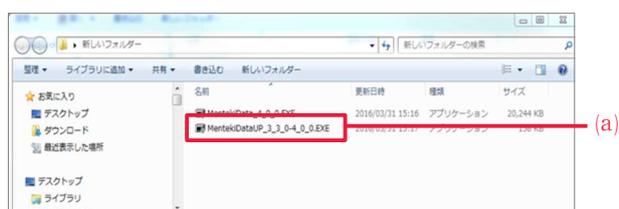


(b) [解凍先フォルダ] に解凍先フォルダ名を入力します。

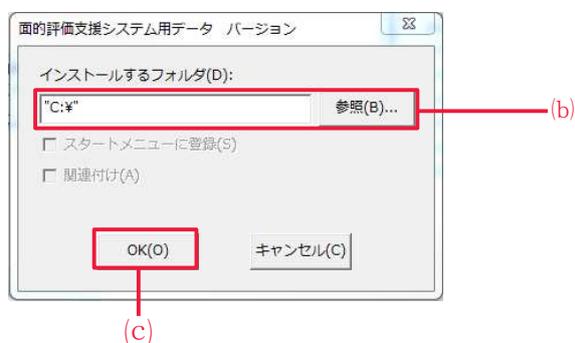
(c) [OK] をクリックします。

(2) 既存データを使用する場合

既存データを使用するにあたり、システムデータのバージョンアップが必要になることが有ります。システムバージョンとシステムデータのバージョンについては、下記 URL で関係を確認してください。
「http://www.env.go.jp/air/car/noise/const_mon/system_upgrade.html」
システムデータのバージョンが違う場合は、以下の手順でシステムデータのバージョンアップを行ってください。

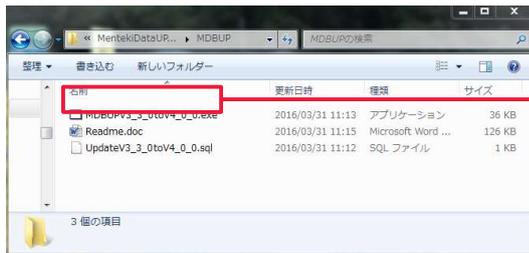


(a) 面的評価支援システム用データバージョンアップツール (MentekiDataUP_X_X_X-X_X_X.exe) をご使用ください。MentekiDataUP_X_X_X-X_X_X.exe をダブルクリックします。



(b) [解凍先フォルダ] に解凍先フォルダ名を入力します。

(c) [OK] をクリックします。



(d) [Readme.doc] を開き、詳しいバージョンアップ手順が記載されていますので、このファイルを参考にデータのバージョンアップを行って下さい。

4 面的評価支援システム用データのバージョンアップ Ver.5.0.0 (旧) →Ver.5.2.2 (最新)

面的評価支援システム用データのバージョンアップについて説明します。

(1) 概要

面的評価支援システムのバージョンを Ver. 5. 2. 2 (最新 Ver) に上げる際、システムを正常に動作させるために、面的評価支援システム用データ (dorodb.mdb、UlayerR4dotNet.mdb) のバージョンも Ver. 5. 2. 0 (最新 Ver) に上げる必要があります。

例として、面的評価支援システム用データのバージョンを Ver. 5. 0. 0 から Ver. 5. 2. 0 に上げるには、バージョンアッププログラム (MDBUPV5_0_0toV5_2_2.exe) を使用します。本資料では、面的評価支援システム用データのバージョンアップ手順及び注意点をまとめます。

(2) バージョンアップ手順

1. 起動

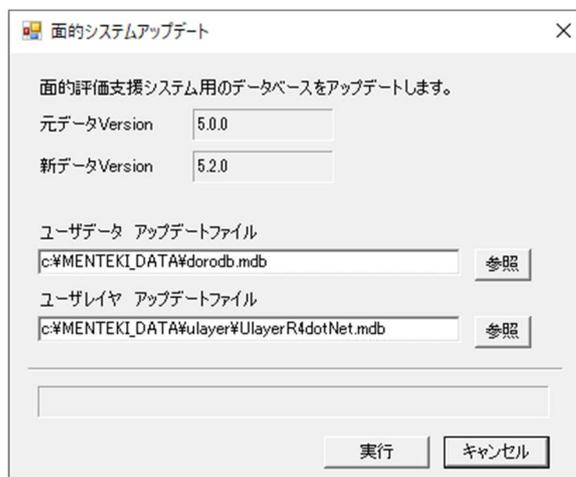
ダウンロードして展開したフォルダ内の MDBUPV5_0_0toV5_2_2.exe を実行してください。

2. アップデートファイルの参照

アップデートを行う面的評価支援システム用データ「dorodb.mdb」と「UlayerR4dotNet.mdb」の参照パスを入力又は、参照ボタンをクリックして対象のファイルを選択してください。

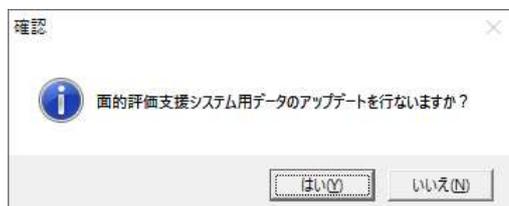
デフォルトは、ユーザーデータは、「C:\MENTEKI_DATA\dorodb.mdb」、

ユーザーレイヤは「C:\MENTEKI_DATA\Ulayer\UlayerR4dotNet.mdb」となっています。

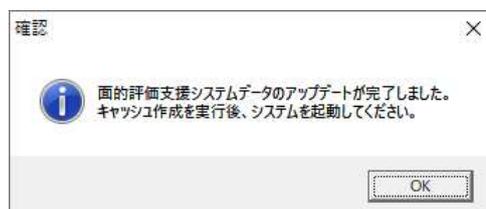


3. バージョンアップ実行

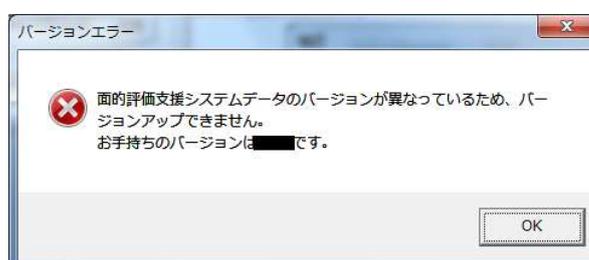
バージョンアップ実行の確認メッセージが表示されるので「はい」を選択し、実行してください。



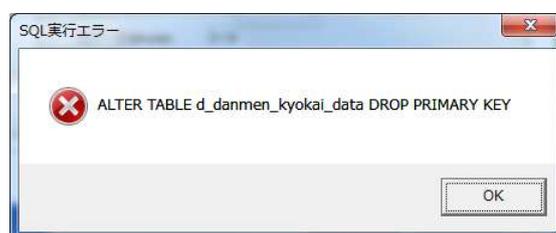
(注1) バージョンアップが正常に行われた場合、以下の様な完了確認メッセージが表示されます。また、旧バージョンのファイルがバックアップファイルとして保存されます(ファイル名 : dorodb.mdb.ver. *.*.*.)。



(注2) 指定した面的評価支援システム用データのバージョンが Ver. *.*.* でない場合、以下の様なエラーメッセージが表示されます。Ver. *.*.* までバージョンアップ後、再度実行してください。



(注3) 以下の様な SQL 実行エラーが表示された場合、管理者にご連絡ください。



注意

「SQL 実行エラ」が出る場合は、ユーザーにファイルの「実行、変更(読取、書込)」の権限がない可能性が有ります。パソコンの管理者に相談し、権限を与えてください。
権限を与えてもエラーが出る場合は、データベースの不具合が考えられますので、環境省へお問い合わせ下さい。

4. 終了

終了するにはキャンセルボタンをクリックしてください。